

KITAQ MISSION START!

一般技術員 衛生(農芸化学)



保健福祉局 保健所 保健企画課 (令和2年度入職)

入職後の経歴		
令和2年度	入職	保健福祉局 保健所 西部生活衛生課
令和5年度	異動	保健福祉局 感染症医療政策課
令和6年度	異動	保健福祉局 保健所 保健企画課



Q 北九州市役所を志望したきっかけを教えてください。

A 大学では農学を専攻。他自治体の衛生職に就いた先輩が身近にいたこともあり、専門知識をいかせる公務員受験に興味を持っていました。就職活動では一般企業と並行して、生まれ育った北九州市の採用試験を受験しました。選考が進む中で、市民のために北九州市職員として働く自分をイメージできたため、入職を決意しました。

Q 現在担当している業務の内容を教えてください。

A 主にインフルエンザや感染性胃腸炎等の感染症の啓発業務を担当しています。幼稚園や学校、施設といった集団生活の場では、感染症の流行を防ぐために、手指衛生や感染症発生時の対応などの正しい知識を身に付けることが大切です。これらの知識を啓発資料や動画、研修会を通じて提供しています。その他にも、医療機関向けの院内対策研修会や結核医療公費負担の支払い業務も担当しています。

Q 業務に取り組む中で、どのような点に仕事のやりがいや面白さを感じますか。

A 幼稚園や施設向けの感染症対策研修会を開催した際、同じような悩みを抱えていた参加者同士が職場での対策を共有し、解決策を見つけていた姿が特に印象に残っています。多くの参加者が充実感を感じながら会場をあとにする姿を見て、研修会を開催して良かったと思いました。今後も継続して開催することが、北九州市での感染症拡大防止に繋がると感じています。

Q 現在の担当業務以外で印象に残っている業務を教えてください。

A 入職後、生活衛生を所管する西部生活衛生課に配属され、旅館や公衆浴場、理美容所等といった施設の衛生管理に関わる業務に3年間携わりました。何気なく見ていた施設の様々な部分に衛生的な意味があることを知り、市役所業務が身近であることを学びました。

市民に向けて正しい知識をわかりやすく伝えていきます。

Q 北九州市で働いていて良かったと思う点を教えてください。

A ジョブローテーションによって、多岐にわたる業務を経験できる点です。農芸化学の衛生職は、食品衛生・環境衛生の本庁部門や現場部門(保健所)、検査部門が主な異動先となりますが、現在、私が所属している感染症関係の部署が異動先となることもあります。配属される部署によって、業務内容や関わる相手が変わってくるため、様々な面で成長することができました。

Q 北九州市役所で働くことに興味を持つ皆様に向けて、メッセージをお願いします!

A 市役所での仕事はその規模に関わらず、市民の生活につながります。特に、政令指定都市である北九州市では、自分の仕事が多くの人に影響を与えることになります。どの業務も市民のためになる非常にやりがいのあるものだと感じています。市民の生活を少しでも良くするために、ぜひ一緒に働いてみませんか。

MISSION

Q 北九州市役所であなたがクリアしたいミッション(夢)を教えてください。

A 生活衛生や感染症についての関心が高まる一方で、誤った知識が広まって市民の不安を煽り、混乱を招いている場面をよく見かけます。正しい知識を学べる場を提供し、市民が不安になることがなく、安心して生活していただくことが私のミッションです。

